

NSF、変革的コンピュータ・情報技術研究支援に向けて学際的研究チーム3組に  
総額3,000万ドルを助成(1月7日)

米国科学財団(National Science Foundation : NSF)は1月7日、変革的なコンピュータ及び情報技術研究を支援するために、学際的且つ複数の研究者で構成される研究チーム3組に対し、「コンピュータにおける探検(Expeditions in Computing)」プログラムの下で5年間に亘ってそれぞれ1,000万ドルを助成することを明らかにした。選出された研究チームが取り組むプロジェクトは、①プリンストン大学(Princeton University、ニュージャージー州)が主導し、ペンシルバニア大学(University of Pennsylvania)を含む大学3校がパートナー研究機関として取り組む、セキュリティの脆弱性及びコンピュータ・エラーの原因となる可能性のあるソフトウェアのバグ排除を目的とした「奥深い詳述の科学(The Science of Deep Specification)」、②ボストン大学(Boston University、マサチューセッツ州)が主導し、マサチューセッツ工科大学(Massachusetts Institute of Technology : MIT)のリンカーン研究所(Lincoln Labs)がパートナー研究機関として取り組む「進化可能な生きているコンピュータ ～合成生物学的システムの応用可能性・性能・制限に関する理解と定量化～(Evolvable Living Computing -- Understanding and Quantifying Synthetic Biological Systems' Applicability, Performance, and Limits)」、③コーネル大学(Cornell University、ニューヨーク州)が主導し、カリフォルニア工科大学(California Institute of Technology)を含む大学11校がパートナー研究機関として取り組む「コンプ・サステ・ネット ～コンピュータ・サステナビリティの裾野拡大(CompSustNet: Expanding the Horizons of Computational Sustainability)」、の3件である。

National Science Foundation, NSF commits \$30 million to expand the frontiers of computing  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=137328&WT.mc\\_id=USNSF\\_51&WT.mc\\_ev=click](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=137328&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click)